

免許状更新講習の「選択必修領域」の導入について

◆ 1 変更点

→更新講習の区分が、平成 28 年 4 月 1 日以降に開講される講習から、次のとおり変更されます。

平成 28 年 3 月 31 日までに開かれる講習			平成 28 年 4 月 1 日以降に開かれる講習		
領域の名称	受けるべき合計時間数		領域の名称	受けるべき合計時間数	
必修領域	12 時間以上	全免許種共通	必修領域	6 時間以上	全免許種共通
選択必修領域	6 時間以上	勤務する学校の種類などにより、受講者本人が選択して受講する講習	選択必修領域	6 時間以上	勤務する学校の種類などにより、受講者本人が選択して受講する講習
選択領域	18 時間以上	対象職種の区分として ①「教諭」 ②「養護教諭」 ③「栄養教諭」 の 3 区分あり。 (兼ねた講習もあり)	選択領域	18 時間以上	対象職種の区分として ①「教諭」 ②「養護教諭」 ③「栄養教諭」 の 3 区分あり。 (兼ねた講習もあり)
(合計時間数)	30 時間以上		(合計時間数)	30 時間以上	

「選択必修領域」と「選択領域」はまったく違います。まちがえないように。

◆ 2 経過措置

→第 7 グループに属する人など、一部の方は、平成 28 年 3 月 31 日までに合計 30 時間の受講のうち、一部の履修を修了している場合があります。

そういう方についての平成 28 年 4 月 1 日以降の取扱いについては、旧制度で必修領域(12 時間)を受講・履修修了している場合には、新制度による必修領域(6 時間)と選択必修領域(6 時間)の両方を受講・履修修了しているものとみなすという経過措置が設けられ、いわゆる“受講し直し”が生じないようにになっています。

(以下の例では便宜上、仮に、平成 28 年 3 月 31 日までに開講された講習を「旧制度」、平成 28 年 4 月 1 日以降に開講される講習を「新制度」と呼びます。)

(A) パターン 1

旧制度で、必修領域を合計 12 時間受講し、履修修了。

旧制度では、選択領域を合計 18 時間受講する必要がある場合。

→ 平成 28 年 4 月 1 日以降、新制度の選択領域を合計 18 時間受講すればよい。

(選択必修領域の講習は、改めて受講する必要なし。)

(B) パターン2

旧制度で、選択領域を合計18時間受講し、履修修了。

旧制度では必修領域として合計12時間受講する必要がある場合。

→ 平成28年4月1日以降、新制度により、必修領域を6時間、選択必修領域を6時間、それぞれ受講する必要あり。

(C) パターン3

旧制度で、必修領域を合計12時間受講し、履修修了。

旧制度で選択領域を12時間だけ履修修了して、6時間分を残している。

→ 平成28年4月1日以降、選択領域の残り6時間だけを受講すればよい。

(選択必修領域の講習の受講は不要。

※注意※ 選択領域と、選択必修領域を間違えないように！)

(D) パターン4

平成28年3月31日までに、旧制度の必修領域を合計12時間、旧制度の選択領域を合計18時間受講し、それぞれ履修を修了している。

しかし、大阪府教育委員会への「更新講習修了確認申請」が、まだの状態。

→ 改めて、選択必修領域の講習の受講は不要。 ⇒合計30時間以上の受講・履修修了しているので、早めに大阪府教育委員会へ更新講習修了確認申請をしてください。

◆3「文部科学省 更新講習開設情報」の見方

更新講習がいつ、どこで開かれるかなどの情報は、文部科学省のホームページから確認できます。

以下の内容は、開設情報の例として表示しています。

文部科学省 HP で

免許状更新講習一覧（選択必修領域） 【例】

「受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域」

開設者名	講習の名称	取り扱う事項	講習の期間	主な受講対象者		
				学校種	免許職種、教科等	職務経験等
〇〇大学	【選択必修】問題行動と子どもへの理解	教育相談（いじめ及び不登校への対応を含む。）	平成28年8月3日	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない
△△大学	【選択必修】道徳教育と指導方法	道徳教育	平成28年8月12日	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない
■■大学	【選択必修】小学校外国語活動の指導法	英語教育	平成28年8月23日	小学校 中学校	英語科教諭免許	特定しない
&&短期大学	【選択必修】小・中学校における現代の教育課題	進路指導及びキャリア教育	平成28年8月9日	小学校 中学校 特別支援学校	特定しない	初任者～中堅教諭向け

この欄の内容を見て、受講に適した講習を、受講者本人が選択する。